

◆離島活性化交付金等事業計画のうち令和7年度に実施するもの

都道府県名	対象指定地域数: 5 地域	直島諸島(男木島、女木島、直島、向島、屏風島) 大島(大島)
香川県	対象離島数: 24 島	小豆島(小豆島、沖之島、豊島、小豊島) 塩飽諸島(本島、牛島、広島、小手島、手島、与島、小与島、岩黒島、樫石島、粟島、志々島、高見島、佐柳島) 伊吹(伊吹島)

対象指定地域	対象離島	市町村	計画期間	目標	離島振興対策実施地域の活性化に資する事業等で政令で定めるものに関する事項		
					政令で定める事業等(別紙1参照)	離島振興計画に基づく事業等の内容	うち、令和7年度に実施する事業等の内容
直島諸島	男木島 女木島	高松市	5年 (R5～R9)	両島の持続的発展を促進するためには、既存の地域資源に加え、超高速情報通信網の活用や芸術祭の経験を生かしながら、島民はもとより、島外のNPO等市民活動団体、企業、行政等、多様な主体が参画・協働して島づくりに取り組んでいく必要がある。今後、島民の生活の安定及び福祉の向上に取り組むため、地域コミュニティ協議会を中心とした地元と島内外の多様な主体との連携を支援し、航路の利便性を向上させる方策の検討や空き家の活用等、時代の変化を踏まえた事業を実施するとともに、芸術祭等、文化芸術などの持つ創造性を生かしながら、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の取組み推進等を通じて、海に開かれた海園都市高松の魅力を国内外にアピールすることにより島の活性化を図っていく。	A	高度無線環境整備推進事業 「離島においては、地域が抱える課題解決のために、デジタル技術の利活用が期待されており、地域の実情に応じて、超高速ブロードバンド基盤等の充実を促進し、離島住民の情報通信技術の利用機会に係る地域格差の是正を推進するとともに、その維持管理について検討する。具体的には、テレワークや遠隔医療、遠隔教育、ドローン等様々な情報通信技術の離島地域における実装に向けた支援に努める。」 「男木島及び女木島における超高速ブロードバンド基盤については、国の補助事業を活用し、令和2年度から3年度にかけて整備を行っており、デジタル活用の重要性が一層高まる中、その維持管理を行っていく。」	令和2年度から令和3年度にかけて整備した女木島、及び男木島のうち、公設民営方式で整備した男木島について、国の補助事業を活用し、光ファイバ網の維持管理を実施する。
					E	医療の確保等事業 「診療船等による巡回診療への支援を継続するとともに、救急患者の輸送については、搬送時間の短縮により救命率や後遺症軽減率の向上に大きく寄与する香川県ドクターヘリの運用を医療機関や消防機関と連携して実施するほか、救急患者輸送艇や民間船舶借上げへの支援を行うなど、迅速かつ安全に輸送ができる体制を充実する。また、診療所等がある離島については、原則として現在の診療内容を維持・確保するとともに、本土の病院等による支援及び協力体制を構築し、...なお、医療施設及び設備に係る整備を計画的に行うほか、地域医療支援センターにおけるUJターン等を含めた県内外の医師の就業相談・斡旋等への対応や医学生に対する修学資金の貸与制度の運用、香川県医師育成キャリア支援プログラムの効果的な実施などによる医師等の確保、病床の確保等により必要な医療が確保されるよう特別な配慮を行うとともに、保健医療サービスを受けるための条件について、他の地域との格差の是正を図るため、地域の実情に応じて住民負担の軽減策を講じる。また、香川県保健医療計画の着実な実施に努める。」	離島の救急患者を搬送するための民間船舶借上げに対する支援を行う。 離島医療機関への県外勤務医のUJターン促進を行う。
					H	交流促進事業 「県内の離島を中心に開催される瀬戸内国際芸術祭を通じて、各島の魅力を、工夫を凝らしてPRすることで、芸術祭での交流人口の拡大を図るとともに、その後の離島の交流人口及び関係人口、移住・定住人口の増加等による地域の活性化につなげる。特に、離島地域に継続的に関係を有する島外人材である関係人口は、地域づくりにおいて重要な役割を担うことが期待されるため、その創出・拡大を図る。」 「県内外の幅広い世代の人々が、観光や島民との交流、ボランティア活動などを目的に、瀬戸内海を渡り島々を訪れてくれるよう、島関係のプロジェクトを展開するなど、離島活性化の仕掛けづくりに取り組む。」 「島内外の市民や団体等が共に主体的に参加できるようなイベントを実施していくとともに、既存の芸術祭作品を活用し、多様な人々が交流する拠点となるような場の創出を図っていく。また、広がりを見せる体験・滞在型観光やワーケーション等を通じて、国内外の地域との交流が図れるよう、島の魅力を発信する事業の推進にも努めていく。」	建築家の安藤忠雄氏が設計・改造し、県へ寄贈予定である本を乗せて運航する船舶(こども図書館船(仮称))を県内の離島等へ運航し、こどもを中心とした県民が離島等での読書体験などを通じた交流企画等を実施する。
J	定住促進事業 「離島を含む本県への移住を促進するため、移住・交流フェアの開催や空き家バンクの運営、移住ポータルサイト等による本県の魅力の情報発信、テレワーク等を活用した施設の整備促進等を図る。」	移住フェアでの移住相談の実施やワーケーション・リモートワークの拠点等としての島の魅力を総合的に発信する。					

対象指定地域	対象離島	市町村	計画期間	目標	離島振興対策実施地域の活性化に資する事業等で政令で定めるものに関する事項		
					政令で定める事業等 (別紙1参照)	離島振興計画に基づく事業等の内容	うち、令和7年度に実施する事業等の内容
直島諸島	直島 向島 屏風島	直島町	5年 (R5～R9)	町の活力を維持するためには、人口減少に歯止めをかけ、若者の移住・定住を促進する必要がある。そのため、地域間交流の促進・人材育成、芸術・文化の振興、教育の充実、海上・陸上交通網の整備、住宅の整備、産業の育成による雇用機会の確保や情報化の推進などにより、若者に魅力のあるまちづくりを目指す。このほか、子育て環境の整備、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進、医療体制の確保、防犯・防災力の強化など、子どもから高齢者まで住民誰もが安心・安全で、快適な環境の中で暮らすことができるまちづくりを目指す。	D	定住促進事業・産業活性化事業（戦略産品開発） 「郷土料理、特産品については、地域住民から意見、要望、アイデアを募り、町内の有識者との意見交換会等を実施し、特産品の研究及び先進地視察研修にて、特産品の開発、販売促進を図る。」	直島町観光協会と委託契約を締結し、地元産の原塩（天日塩）や米などを活用した新たな特産品の開発を行う。「大阪・関西万博」の会期中に大阪で開催される、島や島産品を発信するイベント「しまづくりキャラバン」では、開発商品のモニタリングを行うとともに、既存商品のPRも行う。また、離島の魅力が一挙に会する「アイランダー」イベントにも出展し、新たに開発した商品の試食販売および既存商品のPR・販売を行う。
					E	医療の確保等事業 「診療船等による巡回診療への支援を継続するとともに、救急患者の輸送については、搬送時間の短縮により救命率や後遺症軽減率の向上に大きく寄与する香川県ドクターヘリの運用を医療機関や消防機関と連携して実施するほか、救急患者輸送艇や民間船舶借上げへの支援を行うなど、迅速かつ安全に輸送ができる体制を充実する。また、診療所等がある離島については、原則として現在の診療内容を維持・確保するとともに、本土の病院等による支援及び協力体制を構築し、... なお、医療施設及び設備に係る整備を計画的に行うほか、地域医療支援センターにおけるU/I ターン等を含めた県内外の医師の就業相談・斡旋等への対応や医学生に対する修学資金の貸与制度の運用、香川県医師育成キャリア支援プログラムの効果的な実施などによる医師等の確保、病床の確保等により必要な医療が確保されるよう特別な配慮を行うとともに、保健医療サービスを受けるための条件について、他の地域との格差の是正を図るため、地域の実情に応じて住民負担の軽減策を講じる。また、香川県保健医療計画の着実な実施に努める。」	離島の救急患者を搬送するための民間船舶借上げに対する支援を行う。直島町立診療所への義務年限内の自治医科大学卒業医師を派遣する。
					F	離島居住妊婦の交通費等支援に関する事業 「妊婦が本土において健康診査を受診し、出産に必要な医療サービスを受けやすくするための支援体制を整備する。」	直島町に居住している妊婦に対して、健康診査のための通院で負担した交通費を助成する。
					G	島外に通学する高校生の航路運賃等を助成する事業 「高等学校への船を利用した通学のための費用等を支援し、住民の経済的負担の軽減を図る。」	島外の高校へ通学している高校生へ、船代等の補助を行う。
					H	交流促進事業 「県内の離島を中心に開催される瀬戸内国際芸術祭を通じて、各島の魅力を、工夫を凝らしてPRすることで、芸術祭での交流人口の拡大を図るとともに、その後の離島の交流人口及び関係人口、移住・定住人口の増加による地域の活性化につなげる。特に、離島地域に継続的に関係を有する島外人材である関係人口は、地域づくりに関して重要な役割を担うことが期待されるため、その創出・拡大を図る。」 「県内外の幅広い世代の人々が、観光や島民との交流、ボランティア活動などを目的に、瀬戸内海を渡り島々を訪れてくれるよう、島関係のプロジェクトを展開するなど、離島活性化の仕掛けづくりに取り組む。」 「ICT、IoT 技術を活用し、観光案内や交通情報の配信に取り組みすることで、観光客等の受入れ体制の強化及び交流人口の拡大等による地域の活性化を図る。」	建築家の安藤忠雄氏が設計・改造し、県へ寄贈予定である本を乗せて運航する船舶(こども図書館船(仮称))を県内の離島等へ運航し、こどもを中心とした県民が離島等での読書体験などを通じた交流企画等を実施する。 島の文化等に触れるイベントの開催等、県内離島の交流人口及び関係人口の維持拡大に資する取組を実施する。
					J	定住促進事業 「離島を含む本県への移住を促進するため、移住・交流フェアの開催や空き家/バンクの運営、移住ポータルサイト等による本県の魅力の情報発信、テレワーク等を活用した施設の整備促進等を図る。」	移住フェアでの移住相談の実施やワーケーション・リモートワークの拠点等としての島の魅力を総合的に発信する。

対象指定地域	対象離島	市町村	計画期間	目標	離島振興対策実施地域の活性化に資する事業等で政令で定めるものに関する事項		
					政令で定める事業等 (別紙1参照)	離島振興計画に基づく事業等の内容	うち、令和7年度に実施する事業等の内容
大島	大島	高松市	5年 (R5～R9)	生活環境及び医療・福祉の維持向上を図るとともに将来につながる施策・事業を推進していく。また、大島においては、将来的に居住者がいなくなることが懸念されていることから、瀬戸内国際芸術祭を契機として生まれた、芸術祭関係者を始めとする島外の人々との交流を更に活性化させ、移住・定住につなげることで有人島としての存続を目指していく。	E	<p>医療の確保等事業</p> <p>「診療船等による巡回診療への支援を継続するとともに、救急患者の輸送については、搬送時間の短縮により救命率や後遺症軽減率の向上に大きく寄与する香川県ドクターヘリの運用を医療機関や消防機関と連携して実施するほか、救急患者輸送艇や民間船舶借上げへの支援を行うなど、迅速かつ安全に輸送ができる体制を充実する。また、診療所等がある離島については、原則として現在の診療内容を維持・確保するとともに、本土の病院等による支援及び協力体制を構築し、...なお、医療施設及び設備に係る整備を計画的に行うほか、地域医療支援センターにおけるUJターン等を含めた県内外の医師の就業相談・斡旋等への対応や医学生に対する修学資金の貸与制度の運用、香川県医師育成キャリア支援プログラムの効果的な実施などによる医師等の確保、病床の確保等により必要な医療が確保されるよう特別な配慮を行うとともに、保健医療サービスを受けるための条件について、他の地域との格差の是正を図るため、地域の実情に応じて住民負担の軽減策を講じる。また、香川県保健医療計画の着実な実施に努める。」</p>	離島住民等の救急患者搬送のための民間船舶借上げ等に対する支援を行う。
					H	<p>交流促進事業</p> <p>大島の将来にわたる振興を図るためには、ハンセン病療養所としての歴史を風化させず、大島青松園が存在した事実を歴史的遺産として残していくことが重要であることから、島外の人々を含む、多くの人々が大島との関わりを深めていく環境を維持し、大島に関わる人の輪を広げ、それらの人々が、大島の将来像を共有しながら、ふれあい、学び、つながり、そして、その取組みを継承していくことが、大島の振興を図るために、重要な役割を担うことになる。</p> <p>「県内の離島を中心に開催される瀬戸内国際芸術祭を通じて、各島の魅力を、工夫を凝らしてPRすることで、芸術祭での交流人口の拡大を図るとともに、その後の離島の交流人口及び関係人口、移住・定住人口の増加等による地域の活性化につなげる。特に、離島地域に継続的に関係を有する島外人材である関係人口は、地域づくりにおいて重要な役割を担うことが期待されるため、その創出・拡大を図る。」</p> <p>「県内外の幅広い世代の人々が、観光や島民との交流、ボランティア活動などを目的に、瀬戸内海を渡り島々を訪れてくれるよう、島関係のプロジェクトを展開するなど、離島活性化の仕掛けづくりに取り組む。」</p> <p>「本地域の振興に当たっては、瀬戸内国際芸術祭で培われた多様な人材やネットワークを活用し、文化芸術活動を中心とした交流や将来的な定住の促進を図ることが効果的であると考えられる。このことから、大島青松園社会交流会館等に滞在しながら、芸術家と子ども達が協働して創作活動を行い、入所者との交流を図る「アーティスト・イン・レジデンス」を今後も実施することにより、交流や将来的な定住の促進を図っていく。」</p> <p>「さらに、大島の魅力や情報については、民間団体等との協働により、インターネットなどを活用し、広く国内外に情報発信を行うなど、継続的な広報活動に取り組んでいく。」</p>	<p>島の文化等に触れるイベントの開催等、県内離島の交流人口及び関係人口の維持拡大に資する取組を実施する。</p> <p>県内外の参加者が3日間大島に集い、入所者との交流や入所者のアーカイブ映像・音声等を活用したワークショップを通して、作品を制作する。作品は事業実施後、YouTube等で一般公開する。高齢化に伴い、入所者の思いを島外の方々へ届ける機会が減少しているが、アーカイブ映像や音声を活用した作品を公開することにより、入所者の生の声を後世に遺すことができる。このことにより、より多くの人が大島に関心を持ち、瀬戸内国際芸術祭の開催期間外も含めて、継続的に訪れてもらうことで、大島の振興につなげていく。</p>
					J	<p>定住促進事業</p> <p>「離島を含む本県への移住を促進するため、移住・交流フェアの開催や空き家バンクの運営、移住ポータルサイト等による本県の魅力の情報発信、テレワーク等を活用した施設の整備促進等を図る。」</p>	移住フェアでの移住相談の実施やワーケーション・リモートワークの拠点等としての島の魅力を総合的に発信する。

対象指定地域	対象離島	市町村	計画期間	目標	離島振興対策実施地域の活性化に資する事業等で政令で定めるものに関する事項		
					政令で定める事業等 (別紙1参照)	離島振興計画に基づく事業等の内容	うち、令和7年度に実施する事業等の内容
小豆島	沖之島 豊島 小豆島	土庄町	5年 (R5～R9)	本地域における振興の基本方針は、瀬戸内国際芸術祭等を通じた観光客等による交流人口の増加を継続しつつ、道路・港湾・漁港・農道等基盤施設の整備を行うとともに、医療・教育分野等における環境整備や遊休施設等の有効活用を図るほか、航路・島内交通等による交通利便性等を維持・向上できるように努めることにより、各島の産業の活性化並びに雇用機会の拡大等を行うことで今後より一層、本地域における移住・定住の促進、活性化を図っていく。	D	雇用の拡充に関する事業 「農林水産業をとりまく厳しい現状を改善するため、地域特性を生かした新規作物の導入・ブランド化・高付加価値化等を通じた販路拡大をはじめ、流通の合理化や費用の低廉化、生産性向上に資する施設の整備などに努める。また、農林漁業者の人材確保・育成、技術・経営管理能力の向上、農業生産条件の不利の補正及び島の漁業を活性化するための漁場等の保全活動・漁港整備等を推進する。さらに、地域の自律的発展を促進するため、瀬戸内海の豊かな水産資源等の地域資源を有効活用した産業振興を推進し、雇用機会の確保に努める。」	戦略産品として水産物を島外へ移出する際の海上輸送費を補助する。
					E	医療の確保等事業 「診療船等による巡回診療への支援を継続するとともに、救急患者の輸送については、搬送時間の短縮により救命率や後遺症軽減率の向上に大きく寄与する香川県ドクターヘリの運用を医療機関や消防機関と連携して実施するほか、救急患者輸送艇や民間船舶借上げへの支援を行うなど、迅速かつ安全に輸送ができる体制を充実する。また、診療所等がある離島については、原則として現在の診療内容を維持・確保するとともに、本土の病院等による支援及び協力体制を構築し、...なお、医療施設及び設備に係る整備を計画的に行うほか、地域医療支援センターにおけるUJターン等を含めた県内外の医師の就業相談・斡旋等への対応や医学生に対する修学資金の貸与制度の運用、香川県医師育成キャリア支援プログラムの効果的な実施などによる医師等の確保、病床の確保等により必要な医療が確保されるよう特別な配慮を行うとともに、保健医療サービスを受けるための条件について、他の地域との格差の是正を図るため、地域の実情に応じて住民負担の軽減策を講じる。また、香川県保健医療計画の着実な実施に努める。」	離島住民等の救急患者搬送のための民間船舶借上げ等に対する支援を行う。 離島での巡回診療や離島医療機関への代診医派遣を行う病院に対する支援を行う。 小豆島中央病院に、義務年限内の自治医科大学卒業医師を派遣する。 離島医療機関への県外勤務医のUJターン促進を行う。
					G	島外に通学する高校生の航路運賃等を助成する事業 「本県の大半の離島には高等学校が設置されていないため、地域の実情に応じて、高校生に対する通学等を支援し、子どもの修学の機会を確保する。」	離島に居住し、島外の高校へ通学している高校生へ、船代等の補助を行う。
					H	交流促進事業 「県内の離島を中心に開催される瀬戸内国際芸術祭を通じて、各島の魅力を、工夫を凝らしてPRすることで、芸術祭での交流人口の拡大を図るとともに、その後の離島の交流人口及び関係人口、移住・定住人口の増加等による地域の活性化につなげる。特に、離島地域に継続的に関係を有する島外人材である関係人口は、地域づくりに関して重要な役割を担うことが期待されるため、その創出・拡大を図る。」 「県内外の幅広い世代の人々が、観光や島民との交流、ボランティア活動などを目的に、瀬戸内海を渡り島々を訪れてくれるよう、島関係のプロジェクトを展開するなど、離島活性化の仕掛けづくりに取り組む。」 「本地域の観光振興及び交流の促進を図るため、農林水産分野等との連携による地域の特産品の開発や販売促進、さまざまな効果的な手法を用いた情報発信を行い、今後一層の交流促進活動を実施する。」 「既存観光資源の有効活用にも努めるほか、おもてなし・おせっかいの心による観光客の受入れ、体験型観光や食をテーマとした観光・交流機能の創出を進めるほか、人気アニメとのコラボレーションやアウトドアツーリズムの推進など新たな観光資源の創出にも取り組んでいく。」 「持続可能な観光へのニーズが高まっており、国内外の観光客の獲得競争の中で選ばれる観光地地なるため、官民を挙げて持続可能な観光を推進していく。」	建築家の安藤忠雄氏が設計・改造し、県へ寄贈予定である本を乗せて運航する船舶(こども図書館(仮称))を県内の離島等へ運航し、こどもを中心とした県民が離島等での読書体験などを通じた交流企画等を実施する。 島の文化等に触れるイベントの開催等、県内離島の交流人口及び関係人口の維持拡大に資する取組を実施する。 海外及び若者を中心に旅先の環境や社会に高い意識を持つ観光スタイル「サステナブルツーリズム」が定着しつつある中、持続可能な観光の島内事業者向けの普及啓発やPR用映像、グッズの作成、独自の認証制度を行い、国際認証制度に挑戦し、小豆島地域においても「選ばれる観光地」を目指す。また、この事業は小豆島町と連携し小豆島地域全体で取り組んでいく。
J	定住促進事業 「離島を含む本県への移住を促進するため、移住・交流フェアの開催や空き家バンクの運営、移住ポータルサイト等による本県の魅力の情報発信、テレワーク等を活用した施設の整備促進等を図る。」 「コロナ禍や通信技術の進展を背景とした、場所に制約されない働き方が普及していることから、リモートオフィスやコワーキングスペースの整備等を通じて、離島地域の持つ魅力的な地域資源等を活用し、今までと違った新たな産業や雇用の創出に努める。」	移住フェアでの移住相談の実施やワーケーション・リモートワークの拠点等としての島の魅力を総合的に発信する。					

対象指定地域	対象離島	市町村	計画期間	目標	離島振興対策実施地域の活性化に資する事業等で政令で定めるものに関する事項		
					政令で定める事業等 (別紙1参照)	離島振興計画に基づく事業等の内容	うち、令和7年度に実施する事業等の内容
小豆島	小豆島	小豆島町	5年 (R5～R9)	本地域における振興の基本方針は、瀬戸内国際芸術祭等を通じた観光客等による交流人口の増加を継続しつつ、道路・港湾・漁港・農道等基盤施設の整備を行うとともに、医療・教育分野等における環境整備や遊休施設等の有効活用を図るほか、航路・島内交通等による交通便利性等を維持・向上できるように努めることにより、各島の産業の活性化並びに雇用機会の拡大等を行うことで今後より一層、本地域における移住・定住の促進、活性化を図っていく。	E	<p>医療の確保等事業 「診療船等による巡回診療への支援を継続するとともに、救急患者の輸送については、搬送時間の短縮により救命率や後遺症軽減率の向上に大きく寄与する香川県ドクターヘリの運用を医療機関や消防機関と連携して実施するほか、救急患者輸送艇や民間船舶借上げへの支援を行うなど、迅速かつ安全に輸送ができる体制を充実する。また、診療所等がある離島については、原則として現在の診療内容を維持・確保するとともに、本土の病院等による支援及び協力体制を構築し、...なお、医療施設及び設備に係る整備を計画的に行うほか、地域医療支援センターにおけるUJターン等を含めた県内外の医師の就業相談・斡旋等への対応や医学生に対する修学資金の貸与制度の運用、香川県医師育成キャリア支援プログラムの効果的な実施などによる医師等の確保、病床の確保等により必要な医療が確保されるよう特別な配慮を行うとともに、保健医療サービスを受けるための条件について、他の地域との格差の是正を図るため、地域の実情に応じて住民負担の軽減策を講じる。また、香川県保健医療計画の着実な実施に努める。」</p>	<p>離島住民等の救急患者搬送のための民間船舶借上げ等に対する支援を行う。 離島での巡回診療や離島医療機関への代診医派遣を行う病院に対する支援を行う。 小豆島中央病院に、義務年限内の自治医科大学卒業医師を派遣する。 離島医療機関への県外勤務医のUJターン促進を行う。</p>
					H	<p>交流促進事業 「海の復権をテーマに3年に1度開催されているアートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」では、小豆島も主要会場の1つとなり、大勢の来訪者で賑わいを見せており、令和7年の「大阪・関西万博」と「瀬戸内国際芸術祭」の同時開催に向け、京阪神との連携強化や観光SDGsを推進し、一時的な観光客の誘致にとどまらず、小豆島の活性化を図る絶好の機会と位置付け、関係人口の拡大や移住・定住を促進する。そのためには、県外へ積極的にPRするとともに、地域資源を有効に活用した産業の振興を図り、雇用機会の確保や新たな雇用の創出に努める。」 「県内外の幅広い世代の人々が、観光や島民との交流、ボランティア活動などを目的に、瀬戸内海を渡り島々を訪れてくれるよう、島関係のプロジェクトを展開するなど、離島活性化の仕掛けづくりに取り組む。」 「本地域の観光振興及び交流の促進を図るため、農林水産分野等との連携による地域の特産品の開発や販売促進、さまざまな効果的な手法を用いた情報発信を行い、今後一層の交流促進活動を実施する。」 「小豆島には300年の伝統を誇る農村歌舞伎や歴史的価値の高い大坂城築城残石など、誇るべき素晴らしい財産がある。日本遺産にも認定された小豆島の貴重な財産を守り、継承していくため、周辺環境の整備や普及啓発、調査・研究のための活動などを展開する。」 「近年、持続可能な観光へのニーズが高まっており、国内外の観光客の獲得競争の中で選ばれる観光地となるため、官民を挙げて持続可能な観光を推進していく。そして、「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりを実現するために、観光客と地域住民の双方に配慮し、小豆島全体で取り組んでいく。」</p>	<p>島の文化等に触れるイベントの開催等、県内離島の交流人口及び関係人口の維持拡大に資する取組を実施する。</p>
					J	<p>定住促進事業 「離島を含む本県への移住を促進するため、移住・交流フェアの開催や空き家バンクの運営、移住ポータルサイト等による本県の魅力の情報発信、テレワーク等を活用した施設の整備促進等を図る。」 「ICTを効果的に活用した学習活動やICT機器の家庭への持ち帰りなどを通じ、オンライン学習やプログラミング教育など、主体的・対話的で深い学びへとつなげる。」 「新たな産業の創出や企業誘致の促進に取り組み、住民、移住者等の雇用機会の充実を図るとともに、地域の多様な事業者が豊富な地域資源を活用した6次産業化の推進に努める。」</p>	<p>建築家の安藤忠雄氏が設計・改造し、県外寄贈予定である本を乗せて運航する船舶(こども図書館船(仮称))を県内の離島等へ運航し、こどもを中心とした県民が離島等での読書体験などを通じた交流企画等を実施する。</p> <p>石工ワークショップを開催する。文化財石垣の修復等に意欲のある全国の石工に江戸時代の石割、道具作りの技術についての研鑽を積む場としても提供しワークショップ形式で整備を進める。また、ワークショップを日本遺産ガイドのほか、広く一般に公開することで、現役石工の実演や丁場跡の歴史を紹介し、小豆島の石の文化や日本遺産についての理解を深めてもらう機会とする。</p> <p>国内における持続可能な観光の先進地として、他地域を先導する取り組みで、「選ばれる観光地」を目指す。</p> <p>移住フェアでの移住相談の実施やワーケーション・リモートワークの拠点等としての島の魅力を総合的に発信する。</p>

対象指定地域	対象離島	市町村	計画期間	目標	離島振興対策実施地域の活性化に資する事業等で政令で定めるものに関する事項		
					政令で定める事業等 (別紙1参照)	離島振興計画に基づく事業等の内容	うち、令和7年度に実施する事業等の内容
塩飽諸島	与島 樫石島 岩黒島 小与島	坂出市	5年 (R5～R9)	本地域においては、施設整備も含めた島の生活環境を向上させ、住民が安心して暮らすことができる基盤づくりに努めるとともに、産業や文化等の担い手を確保し、島の活性化を図る。また、瀬戸内国際芸術祭を、島の活性化を図る絶好の機会と位置づけ、住民と協働して交流人口の拡大を図るとともに、その後の島の交流人口及び関係人口、移住・定住人口の増加等による地域の活性化につなげる。	E	医療の確保等事業 「診療船等による巡回診療への支援を継続するとともに、救急患者の輸送については、搬送時間の短縮により救命率や後遺症軽減率の向上に大きく寄与する香川県ドクターヘリの運用を医療機関や消防機関と連携して実施するほか、民間船舶借上げへの支援を行うなど、迅速かつ安全に輸送ができる体制を充実する。また、診療所等がある離島については、原則として現在の診療内容を維持・確保するとともに、本土の病院等による支援及び協力体制を構築し、。なお、医療施設及び設備に係る整備を計画的に行うほか、地域医療支援センターにおけるUJターン等を含めた県内外の医師の就業相談・斡旋等への対応や医学生に対する修学資金の貸与制度の運用、香川県医師育成キャリア支援プログラムの効果的な実施などによる医師等の確保、病床の確保等により必要な医療が確保されるよう特別な配慮を行うとともに、保健医療サービスを受けるための条件について、他の地域との格差の是正を図るため、地域の実情に応じて住民負担の軽減策を講じる。また、香川県保健医療計画の着実な実施に努める。」	離島住民等の救急患者搬送のための民間船舶借上げ等に対する支援を行う。 離島での巡回診療や離島医療機関への代診医派遣を行う病院に対する支援を行う。 離島医療機関への県外勤務医のUJターン促進を行う。
					H	交流促進事業 「県内の離島を中心に開催される瀬戸内国際芸術祭を通じて、各島の魅力を、工夫を凝らしてPRすることで、芸術祭での交流人口の拡大を図るとともに、その後の離島の交流人口及び関係人口、移住・定住人口の増加等による地域の活性化につなげる。特に、離島地域に継続的に関係を有する島外人材である関係人口は、地域づくりにおいて重要な役割を担うことが期待されるため、その創出・拡大を図る。」 「県内外の幅広い世代の人々が、観光や島民との交流、ボランティア活動などを目的に、瀬戸内海を渡り島々を訪れてくれるよう、島関係のプロジェクトを展開するなど、離島活性化の仕掛けづくりに取り組む。」 「民間活力を活かした観光レクリエーション施設の整備やNPO法人や文化協会等により観光資源の掘り起こしと活用を図るとともに、誘客を促すための情報発信・情報収集に努める。」	島の文化等に触れるイベントの開催等、県内離島の交流人口及び関係人口の維持拡大に資する取組を実施する。 建築家の安藤忠雄氏が設計・改造し、県へ寄贈予定である本を乗せて運航する船舶(こども図書館船(仮称))を県内の離島等へ運航し、こどもを中心とした県民が離島等での読書体験などを通じた交流企画等を実施する。 令和6年度に坂出市民美術館にて実施したイベントを通じて樫石島でのアート活動を知った人々に、島との連続した交流をもつてもらうための継続的なイベントを実施。 瀬戸内国際芸術祭にあわせて広報活動を実施。
					J	定住促進事業 「離島を含む本県への移住を促進するため、移住・交流フェアの開催や空き家バンクの運営、移住ポータルサイト等による本県の魅力の情報発信、テレワーク等を活用した施設の整備促進等を図る。」	移住フェアでの移住相談の実施やワーケーション・リモートワークの拠点等としての島の魅力を総合的に発信する。

対象指定地域	対象離島	市町村	計画期間	目標	離島振興対策実施地域の活性化に資する事業等で政令で定めるものに関する事項		
					政令で定める事業等 (別紙1参照)	離島振興計画に基づく事業等の内容	うち、令和7年度に実施する事業等の内容
塩飽諸島	粟島 志々島	三豊市	5年 (R5～R9)	本地域においては、施設整備も含めた島の生活環境を向上させ、住民が安心して暮らすことができる基盤づくりに努めるとともに、産業や文化等の担い手を確保し、島の活性化を図る。また、瀬戸内国際芸術祭を、島の活性化を図る絶好の機会と位置づけ、住民と協働して交流人口の拡大を図るとともに、その後の島の交流人口及び関係人口、移住・定住人口の増加等による地域の活性化につなげる。	E	医療の確保等事業 「診療船等による巡回診療への支援を継続するとともに、救急患者の輸送については、搬送時間の短縮により救命率や後遺症軽減率の向上に大きく寄与する香川県ドクターヘリの運用を医療機関や消防機関と連携して実施するほか、民間船舶借上げへの支援を行うなど、迅速かつ安全に輸送ができる体制を充実する。また、診療所等がある離島については、原則として現在の診療内容を維持・確保するとともに、本土の病院等による支援及び協力体制を構築し、なお、医療施設及び設備に係る整備を計画的に行うほか、地域医療支援センターにおけるUJターン等を含めた県内外の医師の就業相談・斡旋等への対応や医学生に対する修学資金の貸与制度の運用、香川県医師育成キャリア支援プログラムの効果的な実施などによる医師等の確保、病床の確保等により必要な医療が確保されるよう特別な配慮を行うとともに、保健医療サービスの受け手の条件について、他の地域との格差の是正を図るため、地域の実情に応じて住民負担の軽減策を講じる。また、香川県保健医療計画の着実な実施に努める。」	離島住民等の救急患者搬送のための民間船舶借上げ等に対する支援を行う。 離島での巡回診療や離島医療機関への代診医派遣を行う病院に対する支援を行う。 離島医療機関への県外勤務医のUJターン促進を行う。
					H	交流促進事業 「県内の離島を中心に開催される瀬戸内国際芸術祭を通じて、各島の魅力を、工夫を凝らしてPRすることで、芸術祭での交流人口の拡大を図るとともに、その後の離島の交流人口及び関係人口、移住・定住人口の増加等による地域の活性化につなげる。特に、離島地域に継続的に関係を有する島外人材である関係人口は、地域づくりにおいて重要な役割を担うことが期待されるため、その創出・拡大を図る。」 「県内外の幅広い世代の人々が、観光や島民との交流、ボランティア活動などを目的に、瀬戸内海を渡り島々を訪れてくれるよう、島関係のプロジェクトを展開するなど、離島活性化の仕掛けづくりに取り組む。」 「瀬戸内国際芸術祭や粟島芸術家村事業の実施により、島外から作品制作ボランティアが増加し、島外からの人材と島内住民が関係性を築ききっかけとなっており、今後も継続していくことでますますの関係人口増加を図る。」	島の文化等に触れるイベントの開催等、県内離島の交流人口及び関係人口の維持拡大に資する取組を実施する。 建築家の安藤忠雄氏が設計・改造し、県へ寄贈予定である本を乗せて運航する船舶(こども図書館船(仮称))を県内の離島等へ運航し、こどもを中心とした県民が離島等での読書体験などを通じた交流企画等を実施する。 日本最古の海員養成学校があり、海とのかかわりが強い粟島において、市内小学生向けの環境教育を開催し、環境に対する意識醸成を図るとともに、離島への理解や地域の魅力再認識につなげる。また、市外からの交流人口を増加させるため、ワークショップの開催を実施する。
					J	定住促進事業 「離島を含む本県への移住を促進するため、移住・交流フェアの開催や空き家バンクの運営、移住ポータルサイト等による本県の魅力の情報発信、テレワーク等を活用した施設の整備促進等を図る。」 「粟島及び志々島は、学校がなく高齢化が著しい、海上タクシー事業者も高齢化してきており、救急時の対応も危ぶまれる可能性がある。交通のみならず様々な分野で高齢化による衰退が進んでおり、日常生活に必要な環境の維持を図る必要がある。2島のような高齢化が進む小規模離島の維持についての補助制度などを活用することで、より安全安心な環境の整備を図っていく。」	移住フェアでの移住相談の実施やワーケーション・リモートワークの拠点等としての島の魅力を総合的に発信する。 島内での生活に必要な不可欠な移動手段とすべく、公共交通としてグリーンスローモビリティの定期運行事業を継続する。持続可能な交通サービスとなるように事業性を高めるため、島民はもとより、市外の方に対する利用促進も図っていく。

対象指定地域	対象離島	市町村	計画期間	目標	離島振興対策実施地域の活性化に資する事業等で政令で定めるものに関する事項		
					政令で定める事業等 (別紙1参照)	離島振興計画に基づく事業等の内容	うち、令和7年度に実施する事業等の内容
塩飽諸島	高見島 佐柳島	多度津町	5年 (R5～R9)	本地域においては、施設整備も含めた島の生活環境を向上させ、住民が安心して暮らすことができる基盤づくりに努めるとともに、産業や文化等の担い手を確保し、島の活性化を図る。また、瀬戸内国際芸術祭を、島の活性化を図る絶好の機会と位置づけ、住民と協働して交流人口の拡大を図るとともに、その後の島の交流人口及び関係人口、移住・定住人口の増加等による地域の活性化につなげる。	E	医療の確保等事業 「診療船等による巡回診療への支援を継続するとともに、救急患者の輸送については、... 民間船舶借上げへの支援を行うなど、迅速かつ安全に輸送ができる体制を充実する。また、診療所等がある離島については、原則として現在の診療内容を維持・確保するとともに、本土の病院等による支援及び協力体制を構築し、... なお、医療施設及び設備に係る整備を計画的に行うほか、地域医療支援センターにおけるUJIターンの等を含めた県内外の医師の就業相談・斡旋等への対応や医学生に対する修学資金の貸与制度の運用、香川県医師育成キャリア支援プログラムの効果的な実施などによる医師等の確保、病床の確保等により必要な医療が確保されるよう特別な配慮を行うとともに、保健医療サービスを受けるための条件について、他の地域との格差の是正を図るため、地域の実情に応じて住民負担の軽減策を講じる。また、香川県保健医療計画の着実な実施に努める。」	離島住民等の救急患者搬送のための民間船舶借上げ等に対する支援を行う。 離島での巡回診療や離島医療機関への代診医派遣を行う病院に対する支援を行う。 離島医療機関への県外勤務医のUJIターン促進を行う。
					H	交流促進事業 「県内の離島を中心に開催される瀬戸内国際芸術祭を通じて、各島の魅力を、工夫を凝らしてPRすることで、芸術祭での交流人口の拡大を図るとともに、その後の離島の交流人口及び関係人口、移住・定住人口の増加等による地域の活性化につなげる。特に、離島地域に継続的に関係を有する島外人材である関係人口は、地域づくりにおいて重要な役割を担うことが期待されるため、その創出・拡大を図る。」 「県内外の幅広い世代の人々が、観光や島民との交流、ボランティア活動などを目的に、瀬戸内海を渡り島々を訪れてくれるよう、島関係のプロジェクトを展開するなど、離島活性化の仕掛けづくりに取り組む。」	島の文化等に触れるイベントの開催等、県内離島の交流人口及び関係人口の維持拡大に資する取組を実施する。 建築家の安藤忠雄氏が設計・改造し、県へ寄贈予定である本を乗せて運航する船舶(こども図書館船(仮称))を県内の離島等へ運航し、こどもを中心とした県民が離島等での読書体験などを通じた交流企画等を実施する。
					J	定住促進事業 「離島を含む本県への移住を促進するため、移住・交流フェアの開催や空き家バンクの運営、移住ポータルサイト等による本県の魅力の情報発信、テレワーク等を活用した施設の整備促進等を図る。」	移住フェアでの移住相談の実施やワーケーション・リモートワークの拠点等としての島の魅力を総合的に発信する。

対象指定地域	対象離島	市町村	計画期間	目標	離島振興対策実施地域の活性化に資する事業等で政令で定めるものに関する事項		
					政令で定める事業等 (別紙1参照)	離島振興計画に基づく事業等の内容	うち、令和7年度に実施する事業等の内容
伊吹島	伊吹島	観音寺市	5年 (R5～R9)	<p>本地域の日常生活圏の一層の拡大及び利便性の向上を図るために、本土との定期航路について、運航ダイヤの検討を行うとともに、持続可能な航路事業の運営を前提としつつ島民に対する運賃助成を行うことにより、離島であるがゆえの隔絶性の軽減を図る。医療・福祉については、緊急医療体制について万全の体制を構築するとともに、島内に居住していても迅速かつ的確な受診が可能となるよう本土との医療情報の連携を強化し、ドクターヘリの活用のための環境整備に努める。高等学校通学者については、航路運賃補助の拡充を実施するとともに利便性の向上に努める。観光及び交流の促進について、地場産業と連携した体験型観光の促進や島四国など伝統行事の保存継承及び瀬戸内国際芸術祭の開催を契機として、地域の活性化を図るとともに島外者との交流促進を図る。</p> <p>また、移住促進については、漁業等の後継者確保対策という観点からも、空き家バンク制度の運営や移住フェアへの参加等を積極的に行うとともに移動販売を実施し、島民の日常生活を支える機能の確保を図る。</p> <p>以上より、所得の向上、雇用の場の確保、生活環境の整備による定住促進を図る。</p>	E	<p>医療の確保等事業 「診療船等による巡回診療への支援を継続するとともに、救急患者の輸送については、搬送時間の短縮により救命率や後遺症軽減率の向上に大きく寄与する香川県ドクターヘリの運用を医療機関や消防機関と連携して実施するほか、…民間船舶借上げへの支援を行うなど、迅速かつ安全に輸送ができる体制を充実する。また、診療所等がある離島については、原則として現在の診療内容を維持・確保するとともに、本土の病院等による支援及び協力体制を構築し、…なお、医療施設及び設備に係る整備を計画的に行うほか、地域医療支援センターにおけるUJターン等を含めた県内外の医師の就業相談・給付等への対応や医学生に対する修学資金の貸与制度の運用、香川県医師育成キャリア支援プログラムの効果的な実施などによる医師等の確保、病床の確保等により必要な医療が確保されるよう特別な配慮を行うとともに、保健医療サービスを受けるための条件について、他の地域との格差の是正を図るため、地域の実情に応じて住民負担の軽減策を講じる。また、香川県保健医療計画の着実な実施に努める。」</p>	<p>離島住民等の救急患者搬送のための民間船舶借上げ等に対する支援を行う。 離島での巡回診療や離島医療機関への代診医派遣を行う病院に対する支援を行う。 離島医療機関への県外勤務医のUJターン促進を行う。</p>
					F	<p>離島居住妊婦の交通費等支援に関する事業 「出産については、妊婦の健康診査や出産に必要な医療の提供が円滑に行えるよう支援を行う。」</p>	<p>離島に居住する妊婦の通院にかかる航路運賃について支援を行う。</p>
					G	<p>高校就学支援に関する事業 「高等学校への通学については、航路運賃の補助の拡充を実施するとともに、本土への通学の利便性の向上について検討する。」</p>	<p>離島に居住する高等学校への通学にかかる航路運賃について補助を行う。</p>
					H	<p>交流促進事業 「県内の離島を中心に開催される瀬戸内国際芸術祭を通じて、各島の魅力を、工夫を凝らしてPRすることで、芸術祭での交流人口の拡大を図るとともに、その後の離島の交流人口及び関係人口、移住・定住人口の増加等による地域の活性化につなげる。特に、離島地域に継続的に関係を有する島外人材である関係人口は、地域づくりにおいて重要な役割を担うことが期待されるため、その創出・拡大を図る。」 「県内外の幅広い世代の人々が、観光や島民との交流、ボランティア活動などを目的に、瀬戸内海を渡り島々を訪れてくれるよう、島関係のプロジェクトを展開するなど、離島活性化の仕掛けづくりに取り組む。」 「観光の振興について、煮干イフソ加工の見学や体験型観光漁業等のブルー・ツーリズムの推進等、本島の地場産業と関連したものに加え、瀬戸内国際芸術祭の開催を契機として、芸術鑑賞を取り入れた特色ある観光資源の開発を関係機関及び団体と連携して行い、地域の活性化を図るとともに、島外者との交流機会の拡充により関係人口の創出を図る。」</p>	<p>島の文化等に触れるイベントの開催等、県内離島の交流人口及び関係人口の維持拡大に資する取組を実施する。</p>
					J	<p>定住促進事業 「離島を含む本県への移住を促進するため、移住・交流フェアの開催や空き家バンクの運営、移住ポータルサイト等による本県の魅力の情報発信、テレワーク等を活用した施設の整備促進等を図る。」 「島民が生活必需品を安定的に調達できるような体制を確保するように努める。」</p>	<p>移住フェアでの移住相談の実施やワーケーション・リモートワークの拠点等としての島の魅力を総合的に発信する。</p> <p>週1回の移動販売にかかる定期航路貨物運賃等について補助を行う。</p>